

ミツダ トモミ  
満田 知美

生涯福祉学部・講師  
准学士／兵庫女子短期大学

#### 主な研究業績

■「アートの仕事の可能性ーワークショップの現場からー」  
The possibility to get job in art field -The experimentation from workshop-

『兵庫大学短期大学部研究集録』  
第40号 平成18年3月

#### 研究テーマ

# アートの楽しさを伝える造形遊び、ワークショップ及びイベント企画の研究。日本画制作

#### 概要

ワークショップとは、ものを作る、手を動かす体験を通して、自らが積極的に探求・発見していく活動の時間や場をさす。設定環境を『展示、体験、制作』で構成する。子供たちの『個』の作品と感覚（見る、触る、感じる、聞く、話す、頭を使う、手や身体を動かす）や行為を伴う、活動そのものも大切する。「個」が集まり共同で何かを作る時、誰もが予測しえなかった領域にでることがある。異なる文化を持つ他者と顔を合わせて話し合ったり、能力や経験の有無を問わず一緒に何かを作り、関係を見つめ、係ることで新しい価値や糸口が生まれる。そこでワークショップを通して見るものを巻き込みながら、日々変化していく事を感じ、好奇心を生み出すきっかけ（企画力）について研究をしている。



2013 うまいでえ！加古川かつめしの会・2009 キッズオープンキャンパス

#### 応用分野

上記の内容をもとに、様々なカルチャー（アート、ダンス、ファッション、音楽、スポーツ等）と密接に相関関係を持ちながら新しい表現を創造する。大学コンソーシアムひょうご神戸研修交流委員会委員、イベント学会委員、うまいでえ加古川！かつめしの会副会長、稲美町世界記録挑戦事業実行委員会副委員長

#### 共同研究へのニーズ

キッズを中心にアートの楽しさを伝えるワークショップやイベントの企画・構想